

日大高に男子駅伝部

宮崎日大高が1日、男子駅伝部を創部した。高校、大学、実業団の日清食品で実績を残した藤井周一監督(29)の指導の下、全国高校駅伝出場を目指す。

入部予定者は新1年生9人で、うち本県中学卒業者は昨年の県中学駅伝を大会新で制し、チームの主力として期待される三股の4人を含む8人(残り1人は熊本県出身)。正式な入部は入学式のある10日だが、3月末に全体練習を行うなど、既にチームは始動している。当面は5、6月にある県高校総体でそれぞれが長距離種目などで上位進出を狙う。

監督に元実業団選手

兵庫出身 県内外有力9人入部



いて、駅伝でレギュラーを「つかみたい」と意気込んでいる。藤井監督は兵庫県西宮市出身。名門・西脇工高で全国駅伝に3年連続で出場し、2度の日本一を経験した。日大では箱根駅伝に4年連続出走し、主将も務めた。2004年に日清食品に入社すると、全日本実業団駅伝で

母校の日大駅伝部副部長を通じて監督のオファーがあったのは昨年夏。藤井監督は「あと2、3年現役でやりたかったが、指導者として、またとないチャンスをいただいた」と前向きにとらえ、第二の人生に踏み出す決意をした。「自分の経験を生かし、大学、社会人でも活躍できる選手を育てたい。普段の生活がしっかりしていないと伸びない。礼儀作法などを徹底し、気持ちの強い選手を育てる」と抱負。

チームを05年は3位、09年は準優勝に導いた。しかし07年に左アキレスけんを痛めてからは、思うような成績を残せない状態が続いていた。

県内高校駅伝部は現在、男女小林と女子宮崎日大の3チームのみ。中でも本県男子は全国駅伝で2000年を最後に入賞から遠ざかっており、新たな駅伝部の誕生が他チーム関係者の刺激となつて、県全体の競技力向上につながることも期待されている。

1日に創部した宮崎日大高男子駅伝部。日清食品などで活躍した藤井監督(左から4人目)の指導で全国高校駅伝出場を目指す